

2012年3月期【通期】連結決算ハイライト

(単位:百万円)

通期業績 (対前期比)	2011/3期実績 (2010/4~2011/3)		2012/3期実績 (2011/4~2012/3)		対前期比増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	率
売上高	63,451	100.0%	70,326	100.0%	6,875	10.8%
売上総利益	19,271	30.4%	21,285	30.3%	2,014	10.5%
営業利益	7,713	12.2%	9,523	13.5%	1,810	23.5%
営業外収支	△ 999	△ 1.6%	△ 576	△ 0.8%	423	-
うち支払利息	768	1.2%	603	0.9%	△ 165	△ 21.4%
うち為替差損	519	0.8%	309	0.4%	△ 210	△ 40.4%
経常利益	6,714	10.6%	8,947	12.7%	2,233	33.3%
特別利益	673	1.1%	12	0.0%	△ 661	△ 98.2%
特別損失	470	0.7%	109	0.2%	△ 361	△ 76.7%
税金等調整前利益	6,916	10.9%	8,850	12.6%	1,933	28.0%
法人税等	716	1.1%	1,224	1.7%	508	71.0%
法人税等調整額	△ 2,391	△ 3.8%	1,532	2.2%	3,923	-
少数株主利益	468	0.7%	657	0.9%	189	40.1%
当期純利益	8,123	12.8%	5,435	7.7%	△ 2,687	△ 33.1%

<2012/3期 連結決算概要>

・2012/3期の売上高、営業利益、経常利益はいずれも過去最高値を更新。
 ・売上高は前期比 68 億円(+10.8%)の増収。
 ・利益面は、「サバイバル・プラン」の取り組み成果により収益体質が改善されたことに加え、国内外関係会社の増収効果等より、営業利益は前期比 18 億円(+23.5%)の増益。経常利益は支払利息、為替差損の縮小により同 22 億円(+33.3%)の増益。
 ・当期純利益が前期比で減少しているのは、前期の当期純利益には米国子会社清算終了に伴う法人税等調整額が計上されていることによる。

通期毎の業績推移	2008/3期	2009/3期	2010/3期	2011/3期	2012/3期 (当期)	2013/3期 (次期予想)
売上高	* 68,062	60,572	51,143	63,451	◆ 70,326	72,000
営業利益	868	△ 380	251	* 7,713	◆ 9,523	8,500
経常利益	340	△ 1,963	△ 643	* 6,714	◆ 8,947	8,000
当期純利益	△ 2,063	△ 4,764	△ 1,922	* 8,123	5,435	4,790
為替レート(USD/円)	114.15	91.03	92.10	81.49	77.74	80.00
為替レート(ユーロ)	166.66	127.96	132.00	107.90	100.71	105.00

* これまでの過去最高

◆ 過去最高値を更新

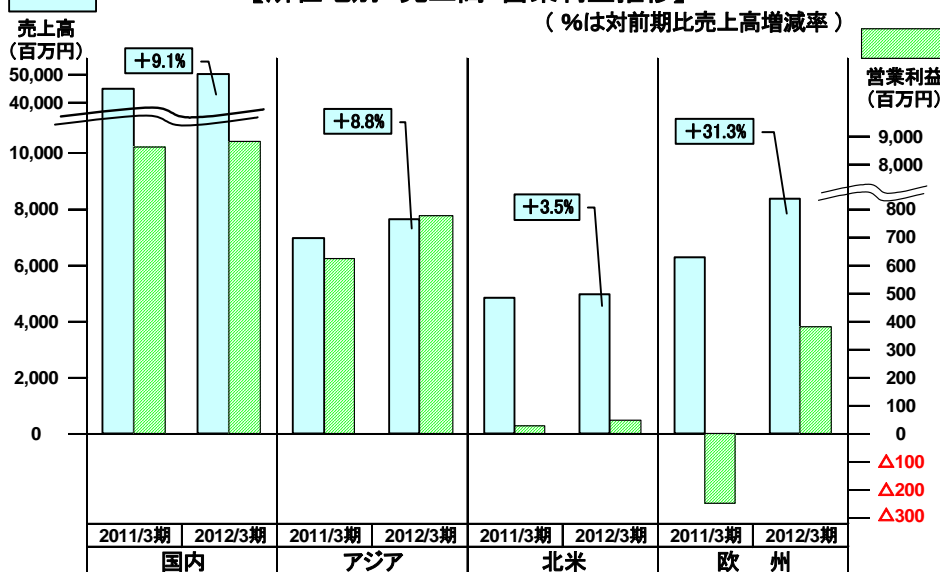
<次期予想について>

次期(2013/3期)は、増収・減益を予想。減収の主な要因は、2012年4月からスタートした中期経営計画に沿って、グローバルな生産体制の構築及び生産能力向上のための設備投資増強による減価償却費負担の増加や、将来に向けた費用の増加等によるもの。

* 業績見通しの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

セグメント情報	外部顧客への売上高					
	2011/3期		2012/3期		対前期比	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
自動車用エンジン軸受	37,567	59.2%	41,084	58.4%	3,517	9.4%
自動車用エンジン以外軸受	13,637	21.5%	15,225	21.7%	1,588	11.6%
非自動車用軸受	12,022	18.9%	13,783	19.6%	1,760	14.6%
その他	223	0.4%	233	0.3%	9	4.2%
合計	63,451	100%	70,326	100%	6,875	10.8%

【所在地別 売上高・営業利益推移】



【欧州】欧州自動車メーカーからの受注が好調。売上高は対前期比+31.3%、営業利益は大幅な増収となり、欧州地域も通期黒字化。

【アジア】韓国、台湾をはじめ自動車メーカーからの受注が堅調に推移。タイは洪水の影響を一時的に受けて、売上高は対前期比ほぼ横ばいに止まったが、営業利益は増加した。

【北米】売上高は対前期比+3.5%と微増だが、現地通貨ベースでは堅調に推移した。

【国内】当期の前半は1Qに減少した自動車関連が2Qに増加に転じ、特に輸出が好調に推移。後半は国内自動車メーカー各社の挽回生産等を受けて国内販売も好転。なかでもトラック向け受注が好調に推移。

また、建設機械、船用、一般産業も堅調に推移し、全体では対前期比+9.1%の増収。

・当期のROEが前期比低下しているのは、前期の純利益に税効果が計上されていることによるもの。
 ・自己資本比率は32.2%と前期末比2.9P改善。

主要財務指標	2008/3末	2009/3末	2010/3末	2011/3月末	2012/3月末	対前期比
売上高営業利益率	1.3%	△ 0.6%	0.5%	12.2%	13.5%	+1.3P
自己資本当期純利益(ROE)	△ 7.0%	△ 20.1%	△ 10.7%	39.3%	20.7%	△ 18.6P
自己資本比率	30.8%	22.2%	20.8%	29.2%	32.2%	+2.9P
有利子負債(百万円)	31,813	40,057	40,942	29,086	28,208	△ 878

設備投資の推移	2008/3期	2009/3期	2010/3期	2011/3期	2012/3期	対前期比
設備投資	7,163	8,660	2,943	2,763	5,596	+2,833
減価償却費	4,845	5,251	5,363	4,763	4,566	△ 197